

【特色】

- ・SDGsの達成に向け、自分たちの問題が科学技術によって解決できることを理解し、行動できる人材の育成を目指します。
- ・実社会の様々な問題がSDGsという概念で関連付けられることを理解するため、STEM分野の実験を通して何がどうつながっているのか意識させる講座を展開します。
- ・講座では学生がメンターとして受講生に寄り添って丁寧な指導を行い、講座後は提出された課題にメンターがコメントを付けて受講生へフィードバックします。それらの過程を通して、実験結果の記録方法や研究の仕方の基礎が習得できるよう支援します。
- ・受講生はタブレット端末を利用し、課題の提出や教員・学生への質問、受講生同士のコミュニケーションのツールとして活用しています。

【企画概要図】

★一次選抜…作文・個人面接により40名を選抜

●第一段階（1年目・マスターコース）

- ・共通講座：SDGs概論・電池づくりの実験・プログラミング体験など
- ・選択講座：フィールドワークや加茂水族館でのクラゲ学習会など

★二次選抜…以下の項目について評価を行い、10名を選抜

- ・第二段階（ドクターコース）の研究計画書
- ・「SDGs未来の都市づくり」のプレゼンテーション
- ・第一段階の各講座の取り組み姿勢とレポートの内容

●第二段階（2年目・ドクターコース）

- ・大学教員およびメンターの支援のもと、受講生自身で設定した研究課題を主体的に解決する。
- ・研究計画発表会（4月頃）及び中間発表会（年2回程度）を実施。

【具体的なプログラム内容】



- ・SDGsの概論を学び、電池づくりの実験、プログラミング体験などを行いながら科学技術でSDGsをどのように達成するかを考えます。
- ・大学での講座に加え、山形県の自然を生かしたフィールドワーク、外部講師による電子顕微鏡の体験講座なども計画しています。
- ・受講生はタブレット端末を利用し、オンライン講座の実施、課題の提出や教員・学生への質問、受講生同士のコミュニケーションのツールとして活用しています。